

令和5年度研究推進計画

大竹市立玖波中学校

1 研究主題

「自らへの自信をもち、主体的に学びに向かう生徒の育成」
～個に応じた学習の手立てと思考力・表現力を高める授業づくりを通して～

2 主題設定の理由

本校はこれまで、全ての生徒が「分かる・できる」授業づくりを目標とし、「焦点化」「視覚化」「共有化」を柱とするユニバーサルデザインを取り入れた授業改善に取り組んできた。昨年度は、「個別最適な学び」の視点から、フォローアップ生徒の交流やICTの効果的な活用により、教科の特性に応じながら、生徒一人一人の学習に寄り添ってきた。本校の生徒は小規模校であるがゆえに、人とのコミュニケーションをとることや、自分の思いを相手に分かりやすく伝えたり、自信を持って人前で表現したりすることを苦手とする生徒が多い。さらに、困難な状況でもうまく適応する力（レジリエンス）の弱さや自己肯定感、自己有用感が低いことも課題にあげられる。また、学習内容の定着についても学年が上がるごとにつまづきを感じる生徒が固定化してしまう傾向がある。学校評価アンケートの結果を見ると「個に応じた課題提示の工夫をしている」（教職員対象）62.5%、「自分の考えをその理由を明らかにして、みんなに分かりやすく説明している」（生徒対象）74.8%と、評価指標80%より低く、個に応じた学習の手立てや自分の考えを相手の立場に立って、分かりやすく自信をもって表現することが必要だと考えた。

そこで、今年度は、学力の定着状況を年度初めに把握し、個に応じた学習の手立てに取り組み、「何が得意なのか」「何ができていないのか」「どこまでできるようになったのか」など改善方法を具体的に見いだすことで学力の定着や向上を図りたい。そのため、自分に必要な学びを自分自身で選択する力を身につけ、主体的に学びに向かう生徒を育てたい。また、自己肯定感、自己有用感を高めるために、協働的な学びの場で、自分の意見が言え、お互いに語り合い、自信をもって自己表現できる生徒の育成を目指したい。

授業づくりにあたっては、授業のユニバーサルデザイン化、ICTを効果的に活用した授業改善に加え、個別最適な学びの場として、個に応じた課題を授業や家庭学習で提示し、指導の個別化、学習の個性化などを充実させる取組を行う。また、協働的な学びの場として、授業の「見通し」と「振り返り」の徹底や、生徒の発表機会の設定や発表方法の工夫を取り入れ、生徒が相手意識を持ち、自信を持って考えや思いを表現できる力を高めるよう取組を進めていきたい。

今年度は、「令和5年度 特別支援教育の考え方を活かした個別最適な学び推進プロジェクト」におけるプロジェクト校の指定を受けている。生徒が主体的に学びに向かう力を高めるために、ユニバーサルデザインを取り入れた授業づくりを基盤とし、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の授業づくりを通して取組んでいく。

3 研究仮説

個に応じた学習の手立てと思考力・表現力を高める授業改善を進めていけば、
生徒一人一人の学力向上と、自らへの自信をもち、主体的に学びに向かう生徒が育つであろう。

4 研究の内容

生徒の主体性を引き出す授業づくり

○ユニバーサルデザインを活かした「分かる・できる」授業づくりの推進

- ・「焦点化」「視覚化」「共有化」の視点を取り入れた授業を行う。フォローアップ生徒を各学年3名程度想定し、各生徒の課題とそれに対する手立てを意識して授業を行い、授業研究での指導案にも記述する。
- ・「単元で何を学び、生徒に何をつかませたいのか」を明確にするため、「単元構想シート」を作成し活用する。
- ・指導案を作成する際は、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導の工夫を具体的に書く。
- ・その授業のめあてを絞り込み（焦点化）、「振り返り」の場面では視点を明示して振り返らせ、その内容から理解度や学習の在り方をみとり、指導の改善につなげる。（指導と評価の一体化）

○ICT機器の活用

- ・ICT機器を活用した授業（視覚化，共有化）を日々実践し，授業研究を行う。
- ・効果的であった活用法について，校内研修等で交流する。

○定期試験の問題作成の工夫

- ・条件を設定したり，複数の資料を基に分析できたりするような問題を出題をし，校内研修で交流する。

○個に応じた課題の提示

- ・授業では，「分かる・できる」を補うため，個に応じた学習課題を提示する。（指導の個別化）
- ・生徒の興味，関心や適性に合わせ，自ら学習方法を選択する。各教科で単元を精選し，各学年1つ以上設定する。（学習の個性化）
- ・生徒の学習の定着状況に合わせた家庭学習を提示する。
- ・YFドリル，YFノート，頑張りタイム，ベーシックタイムを活用する。

○協働的な学習の場面の設定

- ・取り組んだり，考えたりしたくなるような学習課題を設定する。
- ・学習を深める交流になるよう，交流の目的（ゴール）や方法を明確にし，生徒と共有する。
- ・生徒の発表機会の設定や発表方法を工夫する。

5 検証計画

視 点	方 法	指 標
授業づくり	①生徒	①学校評価アンケートの肯定的評価 80% ※生徒の主体的な学びに関する項目 ・「相手に分かりやすく伝えるように表現している」 ・「計画を立てて家庭学習に取り組んでいる」 ※自他を尊重する態度及びレジリエンスの高まりに関する項目 （小中共通項目） 80% ・「自分にはよいところがあると思う」 ・「自分のことを必要としたり頼りにしたりする人がいると思う」 ・「問題が起こったとき，自分の力で立ち直る努力をしている」
	②学力調査	②30～40点台生徒の底上げ ・全国平均と同等（-5ポイント以内）
	③教職員アンケート	③教職員アンケートにおける肯定的評価 ・授業におけるユニバーサルデザインの活用 100% ・授業における個に応じた手立ての工夫 80% ・家庭学習課題の設定への工夫 80%

6 研究構想図

玖波小中学校教育目標

夢をもち、自ら夢を実現する児童生徒の育成
～自他を大切にし、主体的に考え行動できる生徒の育成～

【研究主題】 「自らへの自信をもち、主体的に学びに向かう生徒の育成」
～個に応じた学習の手立てと思考力・表現力を高める授業づくりを通して～

学びに向かう生徒 「主体的に学ぶ意欲の高まり」

「分かる・できる」授業づくり：学力の向上、思考力・表現力の高まり

個別最適な学び

「個に応じた学習の手立て」

- ICT 機器の活用
- 個に応じた課題の提示
 - ・指導の個別化 学習の個性化
 - ・家庭学習の工夫

協働的な学び

「思考力・表現力を高める
授業づくり」

- 授業の「見通し」と「振り返り」の意識化
- 相手意識を持たせた話合いや発表

「焦点化」「視覚化」「共有化」による
ユニバーサルデザインの授業づくり

小中連携の充実（9年間を見通した取組）

- ・小中合同校内研修
- ・小中合同公開研究会？
- ・スクラム会議
- ・異年齢交流

【研究仮説】 個に応じた学習の手立てと思考力・表現力を高める授業づくりを進めていけば、

自らへの自信をもち、主体的に学びに向かう生徒が育つであろう。

【生徒の実態】

- 学習につまずきを感じる生徒の固定化。
- 自己肯定感、自己有用感が低い。→ 自信をもって自分の考えを人前で表現することの苦手な生徒が多い。
- 相手意識をもって表現する意識が低い生徒が多い。（1年84%、2年63%、3年77%、全体75%）

7 研修計画

	月 日	研修内容	指導助言者及び担当者
第1回	4月 5日 (水)	・今年度の取組についての確認 ・今年度の研究主題について	研究主任
第2回	4月21日 (金)	「特別支援教育の考え方を活かした個別最適な学びプロジェクト」による授業観察による研修 14時30分～16時00分 ※関係の先生方のみ	特別支援教育指導主事 義務教育指導課 指導主事 山口 洋平 指導主事 平川 真衣 西部教育事務所 指導主事 南角 明
第3回	5月23日 (火) 15:40～16:40	校内研修 (玖波中) ・特別支援教育に関わる理論研修	特別支援教育指導主事
第4回	6月16日 (金)	授業研究① 教科:理科 (福本)	特別支援教育指導主事
第5回	7月31日 (月) 夏休み中	1学期の取組の振り返りと2学期の研究について (職員研修)	研究主任
第6回	8月24日 (木)	小中合同研修会 (1) ・自己肯定感, 自己有用感を育む集団作りに関する事例研修	特別支援教育指導主事
第7回	9月13日 (水)	授業研究② 教科:英語 (山家)	特別支援教育指導主事
第8回	10月25日 (水)	授業研究③ 教科: (松浦) ※特別支援教育研修会 障害特性に応じた指導方法の工夫	特別支援教育指導主事
第9回	11月 9日 (木)	小中合同研修会 (2) (場所:玖波中) ・中学校授業研究④ 1年 保体 (倉重) ⑤ 2年 美術 (市川) ⑥ 3年 国語 (竹本)	特別支援教育指導主事
第10回	11月28日 (火)	小中合同研修会 (3) (場所:玖波小)	特別支援教育指導主事
第11回	12月26日 (月) 冬休み中	2学期の取組の振り返りと3学期の研究について (職員研修)	研究主任
第12回	2月 8日 (木)	授業研究⑦ 教科:数学 (植木)	特別支援教育指導主事
第13回	3月 15日 (金)	1年間の取組の振り返りと次年度に向けて (職員研修) 「特別支援教育の考え方を活かした個別最適な学びプロジェクト」のまとめ	研究主任 特別支援教育指導主事

※ 令和5年度「特別支援教育の考え方を活かした個別最適な学び推進プロジェクト」指定

※ 指導主事招聘の都合上, 日程が多少ずれる可能性があります。

※ 指定研修, 市教研の授業者になった場合は, 検討します。ご相談ください。

※ 今年度は, 教育センターによる課題サポート講座はありません。